

神中しーぶん

平成26年
5月20日

神原中
不定期04号

食べ物を大切に!!

～子どもが作る“弁当の日”竹下和男講演会～

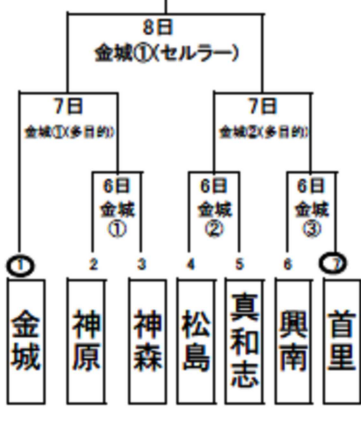
野球組合せ!!

～那覇地区夏季総体～

那覇地区春季リーグ(結果)
2日間のリーグ戦で3勝1敗の成績を残しました。負けた試合でも延長戦というきわどい試合もありました。以下、試合結果は次の通りです。

- 4/19 神原 4-1 寄宮
- 神原 2-3 石嶺(延8)
- 4/26 神原 2-1 松城
- 神原 4-2 上山

いよいよ夏季大会の組合せが決定しました。野球の見所は、どのチームにも優勝のチャンスがあるという言い残さないように!



※講演会 in 沖繩 の案内
演題「弁当の日」が人と人をつなぐ(申込必要)

五月三十一日(土) 五〇〇名
南風原町立中央公民館黄金ホール
十八時～二十時(開場三〇分前より)
六月一日(日) 一〇〇名
アップルタウン三階
十六時三十分～十八時三十分
※申込・問い合わせ
コープおきなわ総合推進室
〇九八―八七九―一一四四

食べ物を大切にすることを育むことは人生でもっとも大切にすべき基礎作りである。

子どもは、育った環境に適応して大人になっていきます。

親が楽しそうに食事を作っていたら「やりたい」「何かできることある?」

と言ってくる。そのピクは五歳です。台所で料理をしたという気持ちは十歳ごろになくなっていきます。

それは「料理はできなくていい」という心と体ができあがった時期と言えるのです。

「簡単な料理は一人でできるのが当たり前」と

いう環境を子どもたちの世界に作りませんか。私と一緒に「弁当の日」に取り組んだ卒業生たちがもう親になりはじめました。

彼らが私に言ってくるのです。「先生、よくぞ「弁当の日」をやらせてくれました」

沖繩でも「弁当の日」実践校が広がり始めています。(参加者の声①)

先生のお話された「人間脳―社会脳―コミュニケーション脳」。脳の育ち(心の育ち)がいかに人を育て、社会、人を豊にするか、よく理解でき共感できました。生きるための食。人とつながるための食。心が育つための食。教育の中にも取り入れる必要がある課題かと思えます。竹下先生の愛ある教育に感動しました。自分の人生を振り返り、両親にづく感謝の意が増しました。父九五歳、母九二歳、高齢の介護状態ですが、二人



弁当の日って?

「弁当の日」とは、「献立作り・買い物から片付けまで、子供が自分で弁当を作ったり学校に持って行く」という取り組みです。大人は手を出さず、見守るだけ。

講演会では「弁当の日」を通して、子どもたちが家族の愛情に気づいたり、感謝の心、物の大切さ、作る楽しみ、生きる力、家族の絆を結びつけたいと思います。

「孤食」は増えていませんか? 食事を減らす機会が減少し、調理の機会が多くなっているのをご存知ですか。もう一度考えてみる。「食育」は誰がやるべきか? 「食育」は誰がやるべきか? 「食育」は誰がやるべきか?

家庭内でも「食育」は誰がやるべきか? 「食育」は誰がやるべきか? 「食育」は誰がやるべきか?

「食育」は誰がやるべきか? 「食育」は誰がやるべきか? 「食育」は誰がやるべきか?



の笑顔と言葉に癒やされていますヨ。愛された意識が残っていると、愛する意識もずつと続くものです。感謝!

(参加者の声②)
前回の講演会を聴いてから、五歳の息子と料理作りを始めました。料理ができたときの子どもの顔がすぐキラキラして、子ども自身の喜びと自信につながっていると感じました。

これからは子どもと一緒に台所に立って、「子育てって楽しいよ♪」と子どもに伝わるよう、私自身も楽しんで一日分の成長した幸せを感じて生きたいです。(haruruさん)

(申込不要)
六月二日(月) 二五〇名
上山中学校体育館(校区青少協主催)
十九時～二十一時
※問い合わせ
おきなわ「弁当の日」応援団事務局
〇七〇―六六九三―〇四三一
六月三日(火) 二〇〇名
浦添市立神森小学校体育館
十九時～二十一時
※問い合わせ
神森小学校
〇九八―八七九―一六三八〇



※四会場とも入場無料
一般の方が対象。ご家族・ご友人お誘い合わせでご参加ください。

※各講演会は、児童生徒のみでの参加はできません

【講演者プロフィール】竹下和男先生

- ・香川県綾川町小学校校長。
- ・高松市立国分寺中学校校長。
- ・香川県教育委員会第九年間勤務。
- ・滝宮小学校校長時代、子ども自身に作らせる「弁当の日」を提唱。

その教育効果を実証し、保護者・地域ぐるみの食育を実践している。